

災害に備えた、地域の支え合い

避難行動要支援者 避難支援制度

保健福祉部 高齢福祉課 ☎82-1115



大規模な災害が発生したとき、高齢者や障害のある人など、自力での避難が困難で支援が必要な人たちがいます。

市では、災害時に避難支援などを必要とする人を把握するため、「避難行動要支援者名簿」を作り、避難支援関係者（民生児童委員、社会福祉協議会、行政区、消防団など）と情報を共有し、地域の支え合い、助け合いによる避難支援の仕組みづくりを進めています。いざという時のためにもぜひ登録しましょう。

※この制度は災害時の支援を必ずしも保証するものではありません。

登録内容

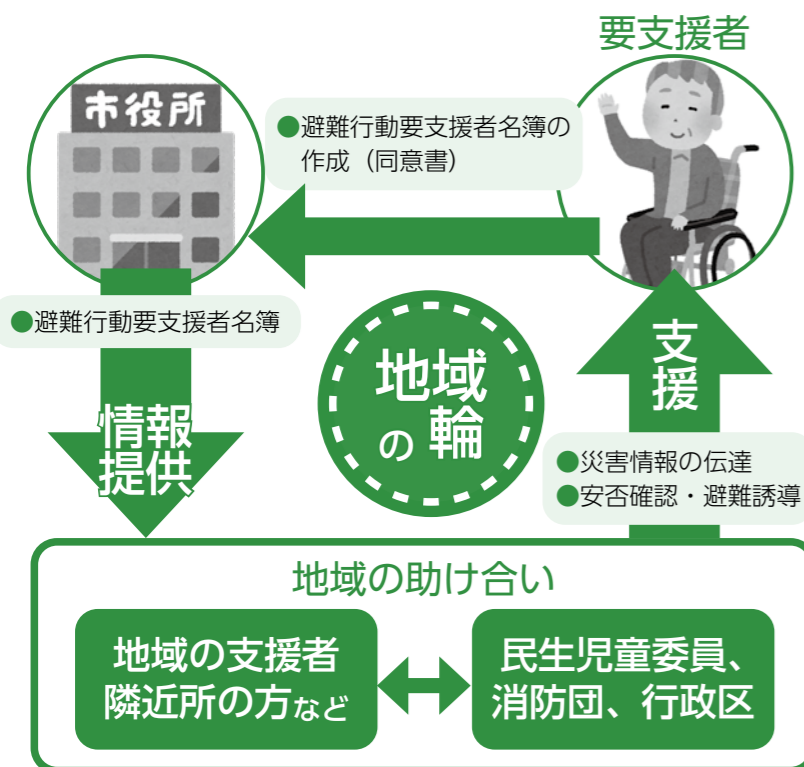
避難行動要支援者名簿には、次の内容を登録します。

- 住所 ●氏名 ●性別 ●年齢 ●電話番号 ●緊急連絡先
- ※登録情報は、災害時の緊急対策や日常生活の見守り支援にのみ使用し、それ以外の用途に使用することはありません。

登録・相談窓口

市では、避難支援が必要と考えられる方に対し、個別に「避難支援プラン同意確認書」を郵送しています。名簿への登録に同意する方は必要事項を記入し、高齢福祉課、各行政局または出張所へ提出してください。

また、個別の通知がない方で名簿への登録を希望する方は、高齢福祉課または各行政局へご相談ください。



登録対象者

- 70歳以上の一人暮らし高齢者の方*
 - 介護保険認定（要介護度3～5）を受けている方
 - 身体障害者手帳（1級、2級）を持っている方
 - 療育手帳Aを持っている方
 - 精神障害者保健福祉手帳を持っている単身世帯の方
 - 市の生活支援を受けている難病患者
 - 他市町村から田村市に避難している要支援者
 - 自ら避難行動要支援者名簿への掲載を希望する方（支援を必要とする方）
- ※同居家族がいる場合でも、時間帯によって1人となる高齢者を含む。

大切なことは 地域での 助け合い



大規模な災害が発生した場合、避難行動要支援者の安否の確認や救出・救助、情報提供、避難誘導を行うためには、まず、支援を必要とする人がどこにいるのかを知っておく必要があります。

円滑かつ迅速に避難支援などを行うためにも、平常時から住民同士の顔の見える関係を作るなど、地域の防災力を高めることが必要です。

住民の皆さんと防災関係機関が一体となり、より一層の防災体制の強化に努め、災害による被害をなくしましょう。

田村市文化財に指定されている算額

奉納場所	所在地	奉納年
王子神社	船引町門鹿	1839年(天保10年)
見渡神社	大越町牧野	1856年(安政3年)
安倍文殊菩薩堂	船引町文珠	1877年(明治10年)
明石神社	船引町堀越	1878年(明治11年)
日渡神社	船引町新館	1888年(明治21年)
稲荷神社	船引町石森	1885年(明治18年)
不動院	船引町芦沢	1891年(明治24年)
不動院	船引町芦沢	1900年(明治33年)
鹿島神社	船引町石森	1894年(明治27年)
八幡神社	船引町新館	1878年(明治11年)

田村市では、市内に10面を有する算額のうち、1683（天和3）年に栃木県佐野市の星宮神社に奉納されたものがあります。

また、算額の中で最も古いものは、玉川神社の103面、次いで岩手県93面、埼玉県91面と続き、関東から東北にかけて多く存在しています。

日本では一番大きい算額は、さいたま市の氷川神社に奉納された縦150、横590センチメートルのもので、船引町文珠にある安倍文殊菩薩堂に奉納された算額は縦91、横540センチメートルとわずかに小さいものの、氷川神社のものは1898（明治31）年に奉納されたものを1972（昭和47）年の復元したものであるため、本来奉納された算額の中では安倍文殊菩薩堂のものが日本一の大

前回、和算家佐久間庸軒のお話をしましたので、今回は和算に関連する算額をご紹介します。

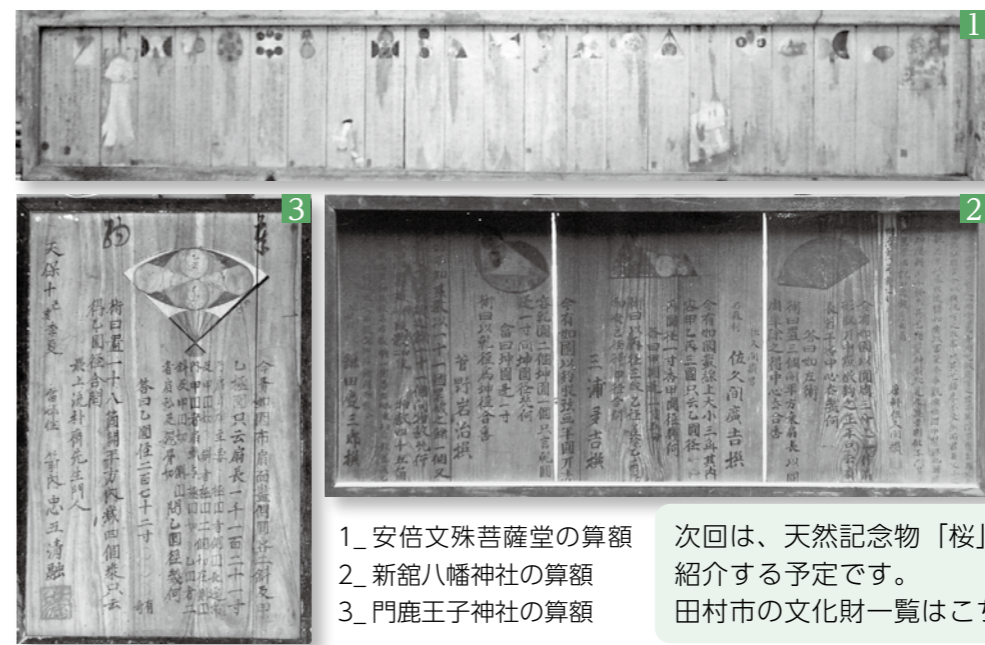
算額は、広い意味では絵馬の一種で、江戸時代、和算において問題が解けたことを神仏に感謝し、さらに勉学に励むことを祈って奉納されたと言われています。やがて、人びとの集まる神社仏閣を問題の発表の場として、難問や問

題だけを書いて解答を付けずに奉納するものが現れ、それを見て解答や想定される問題を見つけて算額にして奉納することも行われました。奉納された算額には1題の問題が書かれていることもありますが、複数の問題が書かれているものが多数あります。

1997年の調査によれば、全国には975面の算額が現存しており、そのうち最も多く存在しているのが、福島県の103面、次いで岩手県93面、埼玉県91面と続き、関東から東北にかけて多く存在しています。

指定しています（上図）。そのうち、江戸時代に奉納されたものは、船引町門鹿の王子神社と大越町牧野の見渡神社の2面で、他は明治時代に奉納されたものです。

門鹿王子神社と1900（明治33）年に奉納された船引町芦沢不動院の算額を除く8面の算額は庸軒の門下生による奉納です。庸軒が奉納した算額は田村市内にはありませんが、船引町新館の八幡神社に奉納された算額の序文は庸軒の自筆によるものです。



1_ 安倍文殊菩薩堂の算額
2_ 新館八幡神社の算額
3_ 門鹿王子神社の算額

今回は、天然記念物「桜」を紹介する予定です。
田村市の文化財一覧はこちら▶▶▶



田村市の文化財

岡教育部生涯学習課 ☎81-12115

「算額」

さんかく

算額に書かれている問題は、和算では解くことができず、現代数学で解けないものの中にはあると言われています。